

私だったらこんな島原市にしたい！

2012年版

マニフェストを作ろう！

今年には四年に一度の島原市長選の年です。

これからの選挙、とくに市長選挙は、どのような政策を実行するのかが問われる。マニフェスト型の選挙になって行きます。

島原市でも青年会議所さんが頑張っていて、マニフェストの大切さ、具体的な数値や年限を盛り込んだ政権公約が大事であることを訴えてくれています。

候補者から示されるマニフェストを受身的に読むのではなく、自分だったらこんなふうにしたいという思いをぶつけましょう。

実現可能性のある市民版マニフェストを突きつけようではありませんか。

次号『青草子13号』ではマニフェストのモデルを示したいと思います。ここにいくつか断片的な例を示しますので、是非皆様もマニフェスト案をお寄せ下さい。

マニフェスト例①副市長を置かない

部長制を最大限活かし、責任回避の二枚腰で決断を示しにくい、決済スピードの遅い現状を改めます。直接決済。委員会出席。

冠婚葬祭を遠慮させていただき、形式的な陳情や自治体横並びお付き合いは精選。国会議員・県議等の選挙にも参加しない。

マニフェスト例②職員給与引き下げ

国家公務員に準じた現状を島原半島の現状に合わせ官民格差をせばめる。基本給を年間3%ずつ下げていき、四年間で12%。諸手当を正常化させる。

マニフェスト例③市長専用車廃止

現状では、秘書随行員も同行するので、秘書に運転させれば専用運転士は要らない。議長にも趣旨を理解していただき公用車一括管理とする。

マニフェスト例④道路修繕費四倍増

すぐやる課を設置（地元業者と連携）歩きにくい道路は即修繕。

マニフェスト例⑤固定資産税率引き下げ

島原市居住年数に応じて税率を引き下げます。（下げ幅は13号で示します。）

※財源説明：④⑤の財源は①②③で捻出

ご提案・ご意見募集

今回、返信ハガキをお付けしました。お気軽にご返信ください。もちろん直接面会、電話メール待っています。

ご意見・ご感想など

〒
ご住所

ご氏名

電話・メルアド等